

## かいじろうの詩画

春が飛んでゆく

胡蝶のような

花があった

或る日本当に

胡蝶になって

飛んで行った

なぜ？

そう 春だからだ

胡蝶のような

あなただった

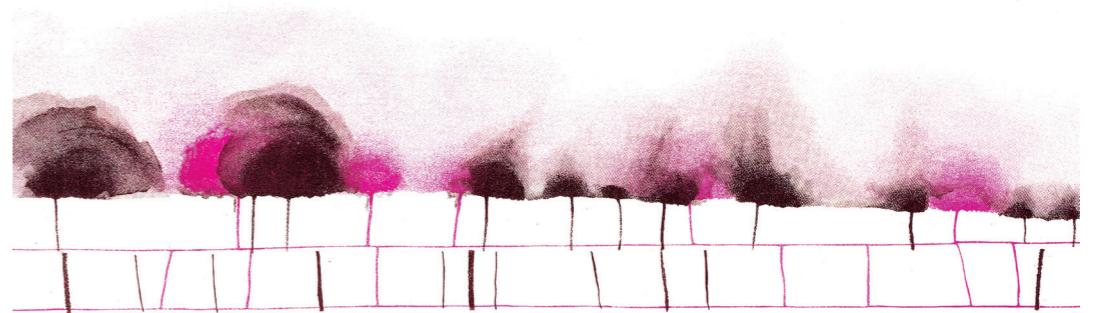
或る日本当に

胡蝶になって

飛んで行ってしまわれた

なぜ？

そう 春だからだ



春はみんな飛んで行く  
飛んで行った人たちはみんな  
幸福だ  
でも残された人たちだってみんな  
幸福だ  
飛んで行った人たちには春の  
歓びがあるだろうし  
しかし残された人たちだって春の  
悲しみがあるだろうし  
そして本当の春なんて  
実は悲しみなのかもしれません



春山の歌

春山を呼ぶと

こだまは 泣きながらまた帰る

なぜ泣きながら帰ってきたの

と尋ねると

だってあなたは無理なことおっしゃるんですもの

と眼を俯せる

だからぼくが春山を呼ぶと

こだまは 泣きながらまた帰る



かいじろうの詩画